

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)		
ナンバリングコード	E21202	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002568	クラス名	泉ゼミ
担当教員名	泉 丙完		
履修上の注意、履修条件	教わるだけでなく、自ら調査し問題を発見、解決案を提案できること。 講義には必ず出席すること 活発に討議や発表に参加すること		
教科書	配布資料		
参考文献及び指定図書	原田雅顕「MOTの新展開」(産業能率大学出版部) 石川和幸「生産管理」(日本実業出版社) 他		
関連科目	経営学入門、プロジェクトマネジメント論、eビジネスマーケティング論		

○基本情報	
授業の目的	本ゼミでは、製造業やITビジネスに携わることを希望する人を対象とし、開発管理、生産管理や品質管理等の経営工学の知識を学び、実践的な技術マネジメントのスキルを身につける。その上で、具体的な製造業やITビジネスにおける問題解決の事例研究を行い、研究論文としてまとめることを最終目的とする。ゼミナールⅡBでは、自分の関心のある製造業における問題発見に着手するとともに、経営工学の基礎知識を身に付け、経営工学的手法により問題解決手法を学ぶことを目的とする。
授業の概要	本ゼミでは、製品開発、生産管理や品質管理等の基礎的な技術マネジメントについて学んだ後、各自が関心のある特定の企業や業界における、具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する問題点を見つけ、経営工学的手法に基づいて実践的な問題解決を行う能力をつにつける。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリーⅡ: 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目
実務経験のある教員による授業科目	泉丙完 本授業のITビジネスに関連し、三菱電機(株)でIT関連の技術開発に従事する。 また、製造業に関連し(株)泉精器製作所で開発製造に従事する。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	製造業やIT関連産業に興味があること。		20点	
【知識・理解】	将来、製造業やIT産業に従事するための基礎知識	20点		
【技能・表現・コミュニケーション】	製造業マネジメントのためのコミュニケーション能力を有する。			30点
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して製造業における問題解決をイメージできる。			30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
各自が決めた企業に関する調査報告。期末におけるプレゼン内容。 出席状況・受講態度も考慮する。ゼミにおける発表と討論への参加状況。 プレゼンについては授業中において評価、講評等を行い、レポートについては評価の上、本人に後日フィードバックする。

○その他
本ゼミではITパスポート等の資格取得を奨励する。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB) 泉 丙完	授業コード	E002568
学修内容				
1. ゼミナールⅡAにおける課題と今後の進め方についてのオリエンテーションを実施する。 経営工学に関する基礎知識に関する講義を行った上、各自の研究分野の対象となる業種や企業について確認を行う。				
予習	「生産管理」(pp.10～pp.22) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.10～pp.22)に関する事例まとめ			約2時間
2. 各自、生産管理の基礎となる管理方式について調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.24～pp.34) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.24～pp.34)に関する事例まとめ			約2時間
3. 各自、生産管理の基礎となる管理方式について調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.36～pp.44) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.36～pp.44)に関する事例まとめ			約2時間
4. 各自、生産の種類について調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.46～pp.61) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.46～pp.61)に関する事例まとめ			約2時間
5. 各自、新製品開発に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.62～pp.71) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.62～pp.71)に関する事例まとめ			約2時間
6. 各自、新製品開発に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.72～pp.81) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.72～pp.80)に関する事例まとめ			約2時間
7. 各自、見込み生産の生産管理に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.80～pp.91) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.80～pp.91)に関する事例まとめ			約2時間
8. 各自、見込み生産の生産管理に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.92～pp.99) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.92～pp.99)に関する事例まとめ			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB) 泉 丙完	授業コード	E002568
学修内容				
9. 各自、個別受注生産の生産管理に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.100～pp.121) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.100～pp.121)に関する事例まとめ			約2時間
10. 各自、原価管理に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.122～pp.145) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.122～pp.145)に関する事例まとめ			約2時間
11. 各自、生産管理システムに関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.146～pp.170) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.146～pp.170)に関する事例まとめ			約2時間
12. 各自、生産管理の改善手法に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.172～pp.181) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.172～pp.181)に関する事例まとめ			約2時間
13. 各自、生産管理の改善手法に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.182～pp.190) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.182～pp.190)に関する事例まとめ			約2時間
14. 各自、これからの生産管理に関する調査を発表し、その中から経営工学的手法により解決すべき問題点を議論により探っていく。				
予習	「生産管理」(pp.192～pp.210) 調査			約2時間
復習	「生産管理」(pp.192～pp.210)に関する事例まとめ			約2時間
15. ゼミナールⅡのまとめとして、ゼミ内でのミニ発表会を行い研究成果の中間発表を行う。また、今後のゼミナールⅢにおいて研究を続けるための課題を確認する。				
予習	研究成果の中間発表の資料準備			約2時間
復習	研究中間発表資料のレビューと訂正			約2時間
16. 予備				
予習				
復習				